

保健体育科（保健）学習指導案

1 単元 傷害の防止

2 単元の目標（評価規準）

（１）知識・技能

①交通事故による傷害を防止するには、車両の特性を知り、交通法規を守り、心身の状態を把握し、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じて、安全に行動することが必要であることを理解している。

（２）思考・判断・表現

①交通事故の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。

（３）主体的に学習に取り組む態度

①交通事故の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導計画

第１時 傷害の発生要因

第２時 交通事故の発生要因（本時）

第３時 交通事故の危機予測と回避

第４時 犯罪被害の防止

第５時 自然災害による危機

第６時 自然災害による危機

第７時 応急手当の意義と方法

第８時 心肺蘇生法

4 本時の目標（評価基準）

（１）知識・技能

①交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。

（２）思考・判断・表現

①傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。

（３）主体的に学習に取り組む態度

①交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。

5 本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点	ICT 活用	評価の観点
0 5	資料 1 のグラフから、中学生の交通事故の特徴について話し合う	交通事故には何があるか予測させる。	師範ビデオ視聴 資料提示 ビデオ撮影 意見交流 振り返り タブレット端末で意見を集める	(2) ① 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。
10	発表 事例から、A さんの事故の要因を整理し、話し合う。 資料 2 を基に交通事故の発生要因について整理する 事例から、事故の人的要因と環境 要因を考え、発表し合う。			
45 50	学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。			